

社会貢献活動・SR 活動

双方向のコミュニケーションをはかります

森林総合研究所は、環境に関連した数多くの研究を行っています。この成果をできるだけ多くの皆様を知っていただくために広報活動に力を入れています。また、皆様からご意見等をいただき、研究業務の運営に反映させるよう、双方向のコミュニケーションにも努めています。さらに、社会人や次世代を担う子どもたちへの環境教育にも力を入れています。以下に、これらの環境コミュニケーションについて紹介します。

● 行事・イベントなど

森林総合研究所は、一年を通してさまざまな行事を企画し、地域内外の皆様とコミュニケーションを深める努力をしています。その中で最も力を入れているのが「森林総合研究所一般公開」です。しかし、平成 23 年度は、3 月 11 日に起こった東日本大震災の被害は甚大なもの

となり、被災された方々への配慮と来場者の安全の確保を考慮し、4 月から 5 月にかけて予定していたイベントは全て中止といたしました。

6 月以降は予定どおりつくば市教育委員会、牛久市教育委員会などからの要請に応じ展示協力を行いました。

● 子ども樹木博士 (7/23)

(社)全国森林レクリエーション協会が呼びかけているこの事業を毎年夏休みの期間中に開催しており、今年で 12 回目の開催となります。担当の研究者により樹木の名前や樹木の葉、花等の特徴を解説した後、参加した子供たちは、「樹木博士」の試験にチャレンジします。平成 23 年度は、12 名の「子ども樹木博士」が誕生しました。



● サイエンスキャンプ (7 月、8 月)

高校生が研究現場等で、研究員から直接講義や実習を受ける科学技術体験学習のため、独立行政法人科学技術振興機構が主催するプログラムです。森林総合研究所は、平成 10 年からこのサイエンスキャンプに協力しています。平成 23 年度は本所 (22 名)、東北支所 (9 名)、関西支所 (12 名)、多摩森林科学園 (12 名) が参加しました。



● もりの展示ルーム夏休み公開 (7/17 ~ 8/31)

小・中学生の夏休み期間中、もりの展示ルームを一般に公開しています。昆虫・野生動物・木材の標本等を展示し、子ども達にも分かり易い説明で当所の研究を紹介しています。また、「つくばちびっこ博士 (つくば市の科学推進教育事業)」の指定見学施設として同時期に公開しています。

平成 23 年は、開催期間中延べ 3,423 名が来所しました。



● つくば科学フェスティバル (11/17 ~ 18)

青少年の科学に対する夢や希望を育むため、研究学園都市各研究機関の研究者や教職員によるわかりやすい実験など、楽しみながら科学の楽しさ大切さを学ぶことを目的に、つくば市及びつくば市教育委員会が主催で毎年秋に開催しています。森林総合研究所も毎年このイベントに参加し、子どもたちに分かりやすく体験できるような企画で出展しています。平成 23 年度は、「知ろう学ぼう木の魅力ー木材を解剖するー」というテーマで出展しました。



●平成 23 年度東北支所・東北育種場・
盛岡水源林整備事務所一般公開 (10/15)

10月15日(土)に平成23年度の一般公開を東北育種場及び盛岡水源林整備事務所との共催で実施しました。当日はあいにくの雨により例年より少なかったものの406名の方に来場していただき、野外自然観察会や物作り体験等の催し物への参加、研究や事業内容の一部を紹介して森林総合研究所を知っていただく良い機会となりました。

来場者の方の感想をご紹介します。

- ・ 林業を通じた震災後の取り組みに期待しています
- ・ 地味な仕事に対して敬意を表します
- ・ 本来の姿の栗や木をじっくりみて子供が喜んでいました
- ・ 毎年その年の話題になっている事を取り上げて頂いている事が有難いです、これからもお願いします(高田松原の一本松)



東日本大震災による海岸林の被災状況の紹介



高田松原の再生活動への支援の紹介



野外自然観察会



クマの生態に関する展示



コースター作り体験



木の枝を利用した鉛筆作り体験